

● 日常の生活から高める防災意識

『防災マーク』のついているところには、生活の中でいつもこころがけておくことよいことなどが記されています。また6・7ページの特設ページ『安全に実習をしよう』では、災害時の行動についての注意や普段の生活から気を付けておきたいことにも触れています。

◎ 災害時の具体的な対応を促す 防災マーク

防災

災害時の炊き出し

防災

災害時の炊き出しでは、よく、おにぎりやみそしるが作られます。どのようなときでも、食べなければ元気は出ません。「ご飯」をたくことで、みんなで助け合うこともできます。ふだんから調理に慣れておきましょう。

➡ 56ページ「日常の食事に生かそう」

● 教科書51ページ

災害時の集合場所

● 家庭でも話し合っておきましょう。



災害マップを見ながら、集まる場所を決めておく。

● 教科書7ページ

非常時持ち出し物の準備



災害などのときに持ち出す物を準備するよ。



災害などのときに持ち出したい物は、整理・整頓しておくといいね。

● 教科書37ページ

さいほう用具の備え

針と糸とはさみを防災用品の一つとして準備しておきましょう。いざというとき、ほころびを直したり、衣服を着る人のサイズに合わせてたりするときなどに役立ちます。

● 教科書21ページ

地震などの災害が起きたとき、いつもこころがけておくこと

こころがけておこう

- 家庭科室や机の上は、いつも整理・整頓をしておく。
- どのようなことが起こるか、常に予想しておく。
- なぜそうするかをいつも考えておこう。
- いつもとちがうことが起きたとき、どうすればよいかを考えておこう。
- 自分から進んで行くことや、支えたり協力することについて考えておこう。

● 教科書7ページ

手ぬぐいの活用

手ぬぐいは災害のときにも役立ちます

防災

- 頭にかぶって身を守る。
- けがや骨折をしたときは、包帯として使う。
- しばってふくろのようにし、小さな荷物を入れる。
- 寒いときに身につける。

● 教科書119ページ